

使用期限切れの薬剤の使用を回避した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、入院時に持参薬の使用期限を確認することで、使用期限切れの薬剤の使用を回避することができたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶狭心症に対する加療目的にて入院された患者

【持参薬】

ニトロペン舌下錠0.3mg 1錠/回 胸痛時頓服

Cさん



Cさん

Cさん、こんにちは。
入院にあたって、今飲んでるお薬を確認させてください。



薬剤師

狭心症の薬を飲んでるよ。

このニトロペンというお薬は最近も飲まれていますか？

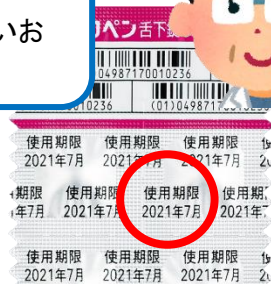


それは狭心症の発作がでたら飲む薬やね。
最近発作が出ることがなかったから、飲んでないなあ。

なるほど。お薬にも使用期限があるのですが、このニトロペンは使用期限が切れていますね。
万が一発作が起きたときに備えておくお薬なので、新しいお薬を先生にだしてもらいましょう。



薬にも期限があるんやね。
長い間飲んでない薬は気をつけないといかんね。



持参した使用期限切れのニトロペンは廃棄し、新しく胸痛時頓服のニトロペンが処方された。
入院時に持参薬の使用期限を確認することで、使用期限切れの薬剤の使用を回避することができた。